

## 和紙の可能性を引き出す

びるだん わし 蛭谷和紙 × かわはら たかくに 川原 隆邦 [富山県立山町]

蛭谷和紙は、五箇山和紙や八尾和紙とともに、国の伝統的工芸品に指定される越中和紙の一つです。現在、蛭谷和紙を継承する唯一の職人である川原隆邦さんは、依頼主の要望をもとに和紙を活用した空間演出やデザインを行っています。「和紙の可能性を引き出し新たな分野を切り拓くことこそ、先人の思いを受け継ぐことだと思うのです」との言葉の通り、伝統の枠にとらわれることなく常に新たな分野に挑戦しています。向こう側が透けて見えるほど薄い和紙や、トンボなどの造形を映し込んだ作品など、実験的な試みを行うのもその一環で、そうした試みがのちの作品づくりに生かされるそうです。思いを込め、手を尽くし、勇気をもって新たなものを作り出そうという「姿勢」があればこそ、これまでにないものが生まれてきます。



稲穂が漉き込まれた作品。漆作家と協力した実験的な作品もある。



薄暗い蔵の壁一面に和紙で立体的に作られた月。



捨てられていた野菜の繊維を漉き込んだ作品。



障子戸に映し出されたさまざまなデザインの和紙は、スタンドガラスに勝るとも劣らない。



コウゾの皮の叩き方次第で繊維は千変万化し、作品はまったく別物になるという。



## 川原 隆邦 (川原製作所代表)

1981年生まれ。  
2003年に蛭谷和紙唯一の継承者であった伝統工芸士・米丘貞吉氏に師事し、和紙作りを学ぶ。  
<主な作品>

- 2011年 ジャパンEXPO(パリ)のエントランス
- 2014年 立山町芦峯地区手刷り護符を復元
- 2015年 北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅の内装(鉄道運輸局)  
富山県民会館のロビー内装(福見設計)  
TOYAMA キラリの2階3階 壁面(隈研吾建築都市設計事務所)
- 2020年 東京メトロ銀座線虎ノ門駅12ゲートエントランス  
虎ノ門グローバルスクエア総合受付壁面

## 【川原製作所】

〒930-3223 富山県中新川郡立山町虫谷29  
re.frontier@gmail.com  
<http://www.birudan.net>

作家の  
Instagramは  
こちらから

